

平成 23 年度 事業報告書

一般財団法人日本自動車研究所

目 次

I. 基本方針	1
II. 事業の概要	1
III. 組織運営	2
IV. 研究・試験事業	3
V. 研究施設・設備などの整備と運用事業	5
VI. 審査登録事業	6
VII. J N X事業	6
VIII. 広報活動	7
IX. 法人移行への対応	8

附属明細書

I. 基本方針

2010 年度末に起きた東日本大震災の影響があり、2011 年度の研究所を取り巻く経営環境は不安定要素が多々見込まれたが、円高の影響などによる国内自動車業界の先行き不透明感、政府における研究開発予算の縮減、シミュレーション技術の導入促進による JARI への実委託試験の削減等を見込み、厳しくなることを予想した。

このような経営環境の中、研究所のビジョンである「先進的な研究に挑み、世界のクルマ社会に貢献する JARI」を実現するため、下記に示す長期運営方針を着実に推進した。

第 3 期長期運営方針：

- ・世界をリードする先進的な研究に挑む
- ・社会のニーズに応える成果を生み出す
- ・積極的に情報を発信する
- ・人材育成と組織活性化
- ・運営目標の実現

特に、2011 年度は、第 3 期長期運営方針の 2 年目として、「研究と経営」の両立を目指して両面で積極的に活動を活発化させた。研究の面からは、「先進研究」を実行して世界トップクラスの研究成果を目指した。更に、社会のニーズを的確に捉えた研究を各分野で実施した。また、経営の面からは、研究から事業化へのビジネスモデル構築を推進した。特に、本年度は「製品認証」などの新たな事業へ進出して経営の安定化を目指した。

II. 事業の概要

研究所を取巻く環境の変化に対応して、社会ニーズを反映した重点研究分野の見直しや新規事業分野への参入を行うとともに、自動車社会における多くの技術的課題の解決に向けて様々な研究試験課題に取り組んだ。

- 1) 第 3 期長期運営方針を着実に推進し、研究と経営の両立を目指した。研究の面からは、次世代自動車用電池や高齢者の交通安全などの社会ニーズが高い研究事業を推進した。一方、経営面からは、車両の機能安全や電気自動車の充電器などの製品認証事業関連を立上げ、経営の安定化を図った。また、将来の海外展開も視野に入れ、アジア各国の研究所との連携を強化した。さらに、研究所全体の営業機能の充実を図り、事業拡大および経営基盤の強化に努めた。

- 2) 研究・試験事業について、政府目標や社会ニーズを注視して、低炭素社会、電動車両・電池・燃料電池、環境負荷低減、アジア地域の環境政策提言、予防安全対策・評価、交通事故件数の削減および事故被害の軽減、高齢者の交通安全、衝突安全性評価、エネルギーITS、自動車の電子化、生活支援ロボットの安全性評価の分野について重点的に実施した。
- 3) 審査登録事業は、審査登録業務システムの改善と審査登録体制のさらなる充実、審査員を含む要員の育成など信頼性の向上に努めるとともに、新規格である IS050001（エネルギーマネジメントシステム）の新事業領域の開拓を進め、事業の維持、拡大を図った。さらに、EV/PHEV 用普通充電器製品認証事業を立ち上げる準備を行った。
- 4) JNX 事業では、自動車業界共通ネットワーク（JNX）の普及活動において、業界に於ける電子商取引の効率化を狙い、一般社団法人 日本自動車工業会、一般社団法人 日本自動車部品工業会と連携して活動を実施した。特に中小企業向けインターネット接続サービスである JNX-LA(ライトアクセス)への情報発信企業の参加の促進や将来に向けた新たなサービスの開発検討等に注力した。
- 5) 所報「自動車研究」やホームページの活用、各種フォーラム・セミナー、および賛助員向け報告会などを開催して、情報の開示を積極的に行った。
- 6) 新法人における定款の変更の案や公益目的支出計画等を作成し、2011 年 10 月に内閣府へ移行認可申請を行い、2012 年 3 月に一般財団法人として認可された。

Ⅲ. 組織運営

- 1) 当研究所運営のための構成は、附属明細書 表 1.1 の「(1) 役員名簿」, 「(2) 評議員名簿」, 「(3) 顧問および参与名簿」, 「(4) 組織表」に示すとおりである。
- 2) 理事会、評議員会の開催状況は、附属明細書 表 1.2 「平成 23 年度主要会議議事一覧」, 寄附金実績は附属明細書 表 1.3 「平成 23 年度寄附金実績」, また、賛助員制度の加入状況は附属明細書 表 1.4 「賛助員加入状況」に示すとおりである。

IV. 研究・試験事業

研究・試験事業については、官公庁、産業界、学会等の自動車関連の各分野からの幅広いニーズに応えるため、以下の研究分野について重点的に実施した。

◇環境・エネルギー

- ・低炭素社会の実現
- ・エネルギー問題への対応
- ・電動車両・電池・燃料電池
- ・環境負荷低減
- ・アジア地域の環境政策提言

◇予防安全・衝突安全

- ・予防安全対策・評価
- ・交通事故件数の削減および事故被害の軽減
- ・高齢者の交通安全
- ・衝突安全性評価

◇ITS（高度道路交通システム）

- ・エネルギーITS
- ・自動車の電子化・機能安全

◇ロボット

- ・生活支援ロボットの安全性評価

1) 分野毎研究活動

- a) 環境・エネルギーに関する分野では、電動車両の電池に関する研究が活発化しており、「次世代自動車用蓄電池に関する研究」や「車載用電池性能の評価に関する研究」を推進した。また、国際基準調和を目指した試験法に関する研究も推進し、「排出ガス・燃費試験方法の技術基準と国際基準調和に関する研究」や「アジア諸国の基準調和と環境対策に関する研究」などを行った。
- b) 予防安全・衝突安全に関する分野では、高齢者の交通安全に関する研究が活発化されており、「高齢者の安全性に関する研究」を行った。また、医学系と工学系の研究者が連携する交通事故の被害軽減に関する研究が注目されており、「医工連携による交通事故被害軽減に関する研究」を行った。さらに、「交通事故発生要因に関する研究」、「人体の損傷メカニズム解明のためのインパクトバイオメカニクスに関する研究」、「歩行者保護、前面・側面・後面衝突など各種衝突試験法に関する研究」などを行った。

- c) ITS に関する分野では、隊列走行による省エネルギー化を目指した「エネルギーITSに関する研究」や、車両の電子制御の複雑化に対応するための「電子機能安全に関する研究」などを行った。
- d) ロボットに関する分野では、ロボットの安全性確保を目指した「生活支援ロボットの安全性検証手法の研究開発」を行った。
- e) 自動車全体に係る分野では、より広範囲でグローバルな観点から自動車産業やエネルギーの課題を克服すべく「将来自動車エネルギー分析モデルに関する研究」、「高齢者に優しい自動車開発に関する研究」などを行った。
- f) 車両の機能安全や電気自動車の充電器などの認証事業に進出することとし、製品認証事業を立ち上げる準備を行った。また、将来の海外への事業展開も視野に入れ、アジア各国の研究所との連携を強化した。

2) 諸官公庁への対応

経済産業省、国土交通省、環境省、警察庁などからの受託事業については、公募情報等を常に注視し、適切に提案・応募していくとともに前年度からの継続事業および実施が計画されている研究、試験、調査活動に積極的に参画した。

3) 標準化活動および学会活動

充電器等を含めた電気自動車全般の安全に関する国際標準化について積極的に推進したほか、国連における試験法の国際基準調和活動など、自動車・電気・電機・電力・電池・情報通信業界に関連する国内外の各種の標準化・基準調和活動に参加した。また、ITSの標準化活動では、システム機能に関しては公益社団法人自動車技術会に設置されたITS標準化委員会を中心に活動し、そのシステム機能構成分科会(WG1)の事務局を担当した。公益社団法人自動車技術会、一般社団法人日本機械学会など関連する学会活動に積極的に参加し、情報の収集、研究成果の発信に努め、自動車技術の進展に寄与した。

4) 国際活動

各国の研究機関と、共同研究などの種々の研究交流を行うとともに、発展途上国へは自動車に関わる行政施策策定への支援を目的として、技術支援を行った。

特に、アジア諸国でのモータリゼーションの急速な進展に伴う環境問題、安全問題の悪化に対して、各国の改善に向けたニーズ調査を行い、フィリピン、インドネシア、中国に関して事業展開の可能性を調査した。

5) 他機関との連携

大学等との連携を強化して、新たな共同研究テーマの発掘や研究交流、人事交流などを積極的に進めた。

なお、2011年度に実施した研究事業は、附属明細書表2.1「平成23年度研究事業一覧」に、2011年度に国内外において発表した論文等は、附属明細書表2.2「平成23年度所外発表論文等一覧」に示すとおりである。このような発表活動において、2011年度に学会からの表彰された受賞者は、附属明細書表2.3「平成23年度学会表彰の受賞者一覧」に示すとおりである。

また、産業財産権の出願および実用新案権の実施に関する活動状況を、附属明細書表2.4「平成23年度産業財産権出願一覧」および、附属明細書表2.5「平成23年度実用新案権実施一覧」に示す。さらに、研究所が著作権を有するコンピュータプログラムで外部から要望があり頒布実績のあったものは、附属明細書表2.6「平成23年度著作権所有主要コンピュータソフトウェア頒布一覧」に示すとおりである。

V. 研究施設・設備などの整備と運用事業

長期運営方針に則り、研究の方向性や重点化と整合した研究施設・設備の整備を実施した。但し、緊縮予算に対応して、必要性、緊急性を十分精査して取得、更新、改修を行った。

- 1) 水素・燃料電池自動車安全性評価試験設備を充実し、安全性評価試験設備の活用を活性化させ、水素・燃料電池自動車の普及・実用化等に貢献した。
- 2) 大型ディーゼル自動車の排出ガス低減と燃費向上に関する研究を促進するため、大型ディーゼル自動車の排出ガス・燃費試験設備を取得した。
- 3) 城里テストセンターでは、2011年3月の東日本大震災によるテストコースの被害が比較的軽微だったため貸出事業を継続運営でき、自社コースが被災した企業等への貸出が増加した。また利用者の多様なニーズに応じて、コースや付帯施設の改善を図ると共に、貸出時間の拡大要望や節電シフト等の運用方法も柔軟に対応して稼働率の向上を達成し、年間利用実績が計画を大幅に上回った。

4) 2011 年度に実施した主要な設備整備・工事等は、附属明細書 表 3.1「平成 23 年度主要設備・工事等一覧」に示すとおりである。

5) 試験コースの外部利用者の使用状況は、附属明細書 表 3.2「平成 23 年度試験コース外部利用者使用状況」に示すとおりである。

VI. 審査登録事業

環境（IS014001）及び品質（IS09001）マネジメントシステムに係る審査を通して、自動車関連企業の効果的な事業活動に貢献すべく、審査登録事業を実施した。

東日本大震災やタイの大洪水等の影響のある中、2011 年度の初回登録は、環境で 5 件、品質で 12 件と低いレベルが続いている。また大規模組織でのサイト統合化やコスト削減の動きが継続し、登録抹消が環境と品質を合わせて 46 件あった。結果として、2012 年 3 月末時点で環境マネジメントシステムの全登録件数が 477 件（前年比-31 件）、品質マネジメントシステムの全登録件数が 142 件（前年比+2 件）と、厳しい結果となった。

新規格である IS050001 エネルギーマネジメントシステムは、認証活動をほぼ展開できる状態まで準備を進めることができた。一部の顧客から模擬審査の要望があり対応し、同時に審査システムの有効性も確認できた。

他のマネジメントシステムとして、IS039001 道路交通安全マネジメントシステムに注目し、情報収集を開始した。さらに、EV/PHEV 用普通充電器製品認証事業を立ち上げる準備を行った。

VII. J N X 事業

業界共通ネットワークである JNX の普及拡大、信頼性の向上を目指し、以下の活動を実施した。

1) JNX-LA(インターネット接続)の普及拡大

2011 年度は、JAMA・JAPIA と連携し、新規のアプリ公開会社を開拓して中小企業向け JNX-LA サービスの普及を行った。

2) JNX 普及拡大

2011 年度末の実績として、加入会社数：2276（75 社増）となった。

3) JNX メンバーズサイトの改善

JNX メンバーズサイト（利用者、CSP：認定サービスプロバイダー、JNX センター間の業務及び情報共有ツール）は、トラフィック情報システム（ネットワーク利用率、遅延状況の検索機能）の再構築に着手し、2012 年度第一四半期サービスリリースの予定である。

4) 事業継続計画の強化

事業継続計画（BCP）として大災害時の業務継続のために、業務システムのセカンダリーデータセンターへの切り替えに基づくバックアップシステムの構築を完了した。

5) 中小企業 EDI の普及拡大(JAPIA ビジネスインフラ対応コンソーシアム)

JAPIA ビジネスインフラ対応コンソーシアムに参画し、中小企業への電子商取引(EDI)の普及を目的に活動した。具体的には、特に一次及び二次部品メーカー間の紙・FAXによる受注出荷業務の EDI 化に焦点をあて、共通 EDI システムプロトタイプモデルを開発し、実証実験を実施し、効果検証を完了した。（実証実験参加企業：発注側 6 社、受注側 2 社, 協力 IT ベンダー 3 社）

VIII. 広報活動

安全・安心なクルマ社会の実現を目指して、研究所の事業活動や研究成果を広く社会に発信するため、以下の広報活動を実施した。

- 1) 第 42 回東京モーターショー開催期間中に自動車の新たな価値を議論する場として「クルマの新たな価値創造に向けて～東日本大震災の経験を無駄にしないために～」と題したシンポジウムを開催し、シンポジウムで得られた知見や意見について提言としてまとめ、ホームページなどの媒体を通じて情報発信を行った。
- 2) 所報「自動車研究」を全面的にリニューアルして電子版とし、迅速に研究成果を発信するとともにメールマガジン、各種イベント（フォーラム、セミナーなどの開催）を活用して、研究活動で得られた最新情報を積極的に開示した。
- 3) 研究成果については、関係する学会などにおいて積極的に発表し、広く一般に公開するよう努めた。
- 4) 賛助員に対しては、研究活動で得られた最新情報を報告会を開催して提供するとともに、試験研究施設等の利用については各種要望にお応えして顧客満足度の向上に努めた。

IX. 法人移行への対応

2012年4月1日における「非営利性が徹底された一般財団法人（新法人）」への移行登記を目指し、新法人における主たる事務所の所在地及び事業の目的・内容を確定するとともに、評議員・評議員会・理事・理事会・監事・会計監査人のガバナンスを再構築し、定款の変更の案及び主な規程類を作成した。

また、公益目的財産額及び実施事業からなる公益目的支出計画を分析し、この分析結果に基づく移行申請書を作成し、2011年10月に内閣府へ移行認可申請を行った。

その後、当研究所は、内閣府より2012年3月に一般財団法人として認可され、当初予定どおり2012年4月1日付けで移行登記される運びとなった。

附属明細書

表 1.1	構成	11
	(1) 役員名簿	11
	(2) 評議員名簿	12
	(3) 顧問および参与名簿	15
	(4) 組織表	16
表 1.2	平成 23 年度主要会議議事一覧	17
表 1.3	平成 23 年度寄附金実績	19
表 1.4	賛助員加入状況	19
表 2.1	平成 23 年度研究事業一覧	20
表 2.2	平成 23 年度所外発表論文等一覧	23
	(a) 国内発表 (129 件)	23
	(b) 海外発表 (国内開催国際会議を含む : 24 件)	32
表 2.3	平成 23 年度学会表彰の受賞者一覧	35
表 2.4	平成 23 年度産業財産権出願一覧	35
表 2.5	平成 23 年度実用新案権実施一覧	36
表 2.6	平成 23 年度著作権所有主要コンピュータソフトウェア頒布一覧	36
表 3.1	平成 23 年度主要設備・工事等一覧	37
表 3.2	平成 23 年度テストコース外部利用者使用状況	38
表 4.1	平成 23 年度技術刊行物一覧	39
表 4.2	平成 23 年度蔵書, 資料保有状況	39
表 5	平成 23 年度重要な契約に関する事項	40

表 1.1 構成

(1) 役員名簿

理事 (46名) , 監事 (2名)

(平成 24 年 3 月 31 日現在)

役名	氏名	所属及び役職名
理事長	志賀 俊之	日産自動車(株) 最高執行責任者
副理事長	名尾 良泰	(一社) 日本自動車工業会 副会長・専務理事
〃	岩波 利光	日本電気(株) 代表取締役 執行役員副社長
〃	渡邊 穰	中部電力(株) 常務執行役員販売本部営業部長
〃	小林 敏雄	(財) 日本自動車研究所 所長
理事	細井 行	いすゞ自動車(株) 代表取締役社長
〃	鈴木 俊宏	スズキ(株) 代表取締役副社長
〃	伊奈 功一	ダイハツ工業(株) 取締役社長
〃	張 富士夫	トヨタ自動車(株) 代表取締役会長
〃	岡本 一雄	日野自動車(株) 代表取締役会長
〃	伊東 孝紳	本田技研工業(株) 代表取締役 社長 執行役員
〃	山内 孝	マツダ(株) 代表取締役 会長 社長兼 CEO
〃	益子 修	三菱自動車工業(株) 取締役社長
〃	中倉 健二	(一社) 日本自動車タイヤ協会 会長
〃	信元 久隆	(一社) 日本自動車部品工業会 会長
〃	深谷 紘一	(株)デンソー 取締役会長
〃	豊田 鐵郎	(株)豊田自動織機 取締役社長
〃	佐野 隆	日本輸送機(株) 専務執行役
〃	大沼 邦彦	日立オートモティブシステムズ(株) 取締役社長
〃	中山 栄治	三菱電機(株) 常務執行役
〃	辻 喜博	矢崎総業(株) 取締役副社長
〃	片桐勇一郎	沖電気工業(株) 社会システム事業本部交通防災システム事業部長
〃	吉田 正寛	J X 日鉱日石エネルギー(株) 執行役員 研究開発企画部長
〃	森安 俊紀	(株)東芝 執行役専務
〃	遠山 敬史	パナソニック システムネットワークス(株) 社長
〃	須山 寛	富士通(株) 常務理事
〃	中村 一則	古河電気工業(株) 執行役員常務 研究開発本部長
〃	黒田 道雄	成蹊大学 名誉教授
〃	小野桂之介	中部大学 理事・副学長
〃	香川 順	東京女子医科大学 名誉教授
〃	吉本 堅一	東京大学 名誉教授
〃	河野 通方	東京大学 名誉教授
〃	藤本 隆宏	東京大学 教授
〃	大聖 泰弘	早稲田大学大学院 教授
〃	永田 勝也	早稲田大学大学院 教授
〃	斉藤 明博	関西電力(株) お客さま本部 副本部長
〃	小畑 博文	中国電力(株) 取締役副社長
〃	田中 雅順	東北電力(株) 常務取締役
〃	本間 充	(社) 電池工業会 会長
〃	下村 節宏	(一社) 日本電機工業会 会長
〃	杉浦 精一	(財) 日本自動車研究所 専務理事
〃	黒田 哲平	(財) 日本自動車研究所 常務理事
〃	田中 利明	(財) 日本自動車研究所
〃	岸田 栄二	(財) 日本自動車研究所
〃	半田 茂	(財) 日本自動車研究所
〃	吉田 泰	(財) 日本自動車研究所
監事	森 郁夫	富士重工業(株) 代表取締役会長
〃	山内 康仁	アイシン精機(株) 相談役

業種別 50 音順

(2) 評議員名簿

評議員 (144名)

(平成 24 年 3 月 31 日現在)

氏名	所属および役職名
永井 克昌	いすゞ自動車(株) 取締役常務執行役員
高田 廣	川崎重工業(株) 代表取締役 常務取締役
本田 治	スズキ(株) 代表取締役 副社長
北川 尚人	ダイハツ工業(株) 取締役専務執行役員
小野 昌朗	(株)東京アールアンドデー 代表取締役社長
渡辺 捷昭	トヨタ自動車(株) 相談役
山下 光彦	日産自動車(株) 副社長
鈴木 孝幸	日野自動車(株) 技監
宮脇 基寿	富士重工業(株) 常務執行役員
近藤 広一	本田技研工業(株) 代表取締役会長
金井 誠太	マツダ(株) 取締役専務執行役員
光岡 章夫	(株)光岡自動車 代表取締役
中尾 龍吾	三菱自動車工業(株) 取締役 開発統括部門長
鈴木 孝男	三菱ふそうトラック・バス(株) 取締役会長
小林 正典	ヤマハ発動機(株) 執行役員 SPV 事業部長
伊勢谷 英樹	UDトラック(株) 車両開発 バイスプレジデント
金井 昭	いすゞ自動車販売店協会 会長
加藤 勝廣	スズキ自動車販売店協会 会長
吉澤 裕	全国スバル自動車販売協会 会長
川井 正次	全国マツダ販売店協会 会長
前田 道裕	ダイハツ自動車販売協会 会長
荒畑 秀夫	TCM(株) 代表取締役社長
守川 正博	トヨタ自動車販売店協会 理事長
櫻井 誠己	日産自動車販売協会 副会長
天野 洋一	(一社) 日本自動車販売協会連合会 会長
上野 弘文	日野自動車販売店協会 会長
森田 俊生	フォードジャパンリミテッド 代表取締役社長
後藤 悦治郎	ホンダ自動車販売店協会 会長
三浦 潔	三菱自動車販売協会 会長
武藤 幸規	三菱ふそう自動車販売協会 会長
原田 信介	UDトラック販売協会 会長
佐藤 充功	愛三工業(株) 専務取締役
藤森 文雄	アイシン精機(株) 代表取締役社長
山口 幸蔵	アイシン・エイ・ダブリュ(株) 専務取締役
西垣 順充	曙ブレーキ工業(株) 取締役専務執行役員
浅野 總一郎	(株)浅野歯車工作所 取締役相談役
齋藤 治彦	(株)アドヴィックス 顧問・技監
オードバディ・アリ	市光工業(株) 代表取締役社長
土居 清志	NOK(株) 専務取締役営業本部長
村田 隆昭	(株)カーメイト 代表取締役会長兼社長
藤田 善三	河西工業(株) 代表取締役会長
山縣 秀司	カルソニックカンセイ(株) 技術顧問
齋藤 圭介	KYB(株) 取締役専務執行役員
横矢 雄二	(株)小糸製作所 代表取締役副社長
松沼 高広	三桜工業(株) 設計技術部 部長
平田 肇	(株)ショーワ 常務取締役
井下 康	ジョンソンコントロールズ(株) 代表取締役社長
豊玉 英樹	スタンレー電気(株) 執行役員
漆畑 憲一	住友電気工業(株) 執行役員
小川 信也	太平洋工業(株) 代表取締役社長

氏名	所属および役職名
嘉納裕躬	(株)ティラド 代表取締役社長
山中康司	(株)デンソー 常務役員
藤井康雄	トピー工業(株) 取締役会長
成瀬哲夫	東海ゴム工業(株) 代表取締役 取締役会長
加藤茂	(株)東海理化 取締役副社長
大野光政	東京濾器(株) 代表取締役社長
伊村晟	(株)豊田自動織機 取締役会長
谷村隆	(株)ニックス 輸送機器事業部 事業部長
正田義雄	日本精工(株) 取締役 執行役専務
朝香聖一	日本精工(株) 名誉会長
加藤倫朗	日本特殊陶業(株) 代表取締役会長
玉村和己	日本発条(株) 代表取締役社長
高橋重夫	日本ピストンリング(株) 代表取締役社長
裏辻俊彦	日本輸送機(株) 取締役社長
寺浦實	(株)ハイレックスコーポレーション 取締役社長
本田恭彦	日立オートモティブシステムズ(株) 取締役副社長
真柄秀一	プレス工業(株) 代表取締役社長
石田耕三	(株)堀場製作所 代表取締役副社長
佐藤文俊	(株)堀場製作所 常務取締役
押澤秀和	ボッシュ(株) 専務取締役
連哲朗	(株)ミックニ 開発本部 副本部長
阿久戸庸夫	(株)ミツバ 代表取締役社長
加藤博明	三菱電機(株) 自動車機器事業部副事業部長
矢崎裕彦	矢崎総業(株) 代表取締役会長
栗原正	ヤマテ工業(株) 取締役
小泉年永	(株)リケン 取締役会長
石崎義一	愛知機械工業(株) 取締役社長
服部哲夫	関東自動車工業(株) 取締役社長
山田博文	岐阜車体工業(株) 代表取締役社長
團野達郎	ジェイ・バス(株) 代表取締役副社長
水嶋敏夫	トヨタ車体(株) 取締役会長
渡辺義章	日産車体(株) 取締役社長
矢島泰市	彌榮精機(株) 代表取締役
村田實	(株)ヤマダコーポレーション 代表取締役
山本悟	住友ゴム工業(株) 執行役員
西畑進	東洋ゴム工業(株) 取締役 常務執行役員
森本芳之	(株)ブリヂストン 製品開発管掌 兼 研究開発管掌
挾間浩久	横浜ゴム(株) 執行役員
天坊昭彦	出光興産(株) 代表取締役会長
川付正明	コスモ石油(株)中央研究所所長
鈴木達也	昭和シェル石油(株) 執行役員研究開発部長
松村幾敏	J X 日鉱日石エネルギー(株) 顧問
西村純一	東燃ゼネラル石油(株) 中央研究所長
藤岡高広	愛知製鋼(株) 取締役社長
杉崎康昭	(株)神戸製鋼所 執行役員
林田英治	JFE スチール(株) 代表取締役社長
戸崎泰之	住友金属工業(株) 取締役 副社長
堀江均	大同特殊鋼(株) 常務取締役
三喜俊典	日新製鋼(株) 代表取締役社長
平山正之	新東工業(株) 取締役会長
牧野二郎	(株)牧野フライス製作所 取締役社長
稲村純三	(株)明電舎 取締役社長

氏名	所属および役職名
山本 功一	(株)明電舎 執行役員
池内 弘	三洋電機(株) 執行役員
伊藤 繁	新神戸電機(株) 執行役社長
伊藤 正人	パナソニック(株)エナジー社 役員 社長
鈴木 泰信	NTN(株) 取締役会長
井川 正治	(株)ジェイテクト 取締役社長
本間 博夫	(株)不二越 代表取締役社長
石村 和彦	旭硝子(株) 代表取締役兼社長執行役員
小川 徹	セントラル硝子(株) 自動車機材部長
藤本 勝司	日本板硝子(株) 取締役会議長 兼 会長
酒井 健二	日本ペイント(株) 代表取締役社長
佐藤 昭彦	BASF コーティングスジャパン(株) 代表取締役社長
牧野 明次	岩谷産業(株) 代表取締役社長
八木 誠	関西電力(株) 取締役社長
眞部 利應	九州電力(株) 代表取締役社長
千葉 昭	四国電力(株) 取締役社長
松枝 寛祐	大陽日酸(株) 代表取締役社長
荻田 知英	中国電力(株) 取締役社長
水野 明久	中部電力(株) 代表取締役社長
海輪 誠	東北電力(株) 取締役社長
久和 進	北陸電力(株) 代表取締役社長
清水 眞	(株)アクアキャスト 取締役社長
中ノ森 賢朗	沖電気工業(株) 社会システム事業本部 ITS 推進センタ長
キニ グレン	(株)サイバー・ソリューションズ 代表取締役社長
マンスフィールド	
田中 良一	田中電気(株) 代表取締役
西田 厚聰	(株)東芝 取締役会長
矢野 薫	日本電気(株) 代表取締役会長
柴田 雅久	パナソニック(株) 役員
山本 正巳	富士通(株) 代表取締役社長
日比野 達	富士通テレコムネットワークス(株) 代表取締役社長
重松 崇	富士通テン(株) 代表取締役社長
石原 廣司	古河電気工業(株) 代表取締役会長
青柳 友三	(株)新エイシーイー 代表取締役社長
亀井 淳史	(株)テクノバ 取締役社長
本多 均	(株)三菱総合研究所 常務執行役員 社会公共部門長
小野 雅道	(株)小野測器 取締役社長
星 淑夫	(株)共和電業 代表取締役社長
生沼 伸夫	(株)共和電業 技術本部 副本部長
鈴木 久仁	あいおいニッセイ同和損害保険(株) 代表取締役社長
岡本 英彌	TANAKA ホールディングス(株) 代表取締役社長
山口 学	(株)関電工 取締役社長
若林 伸嗣	(株)NIPPON 常務執行役員

業種別 50 音順

(3) 顧問および参与名簿

顧問 (7名)

(平成 24 年 3 月 31 日現在)

氏名	所属及び役職名
豊田 英二	トヨタ自動車(株) 最高顧問
豊田 章一郎	トヨタ自動車(株) 名誉会長
岩崎 正視	トヨタ自動車(株) 顧問
富永 孝雄	(一社) 日本自動車工業会 顧問
井口 雅一	(財) 日本自動車研究所 前副理事長・研究所長
奥田 碩	トヨタ自動車(株) 相談役
小枝 至	日産自動車(株) 相談役名誉会長

就任順

参与 (11名)

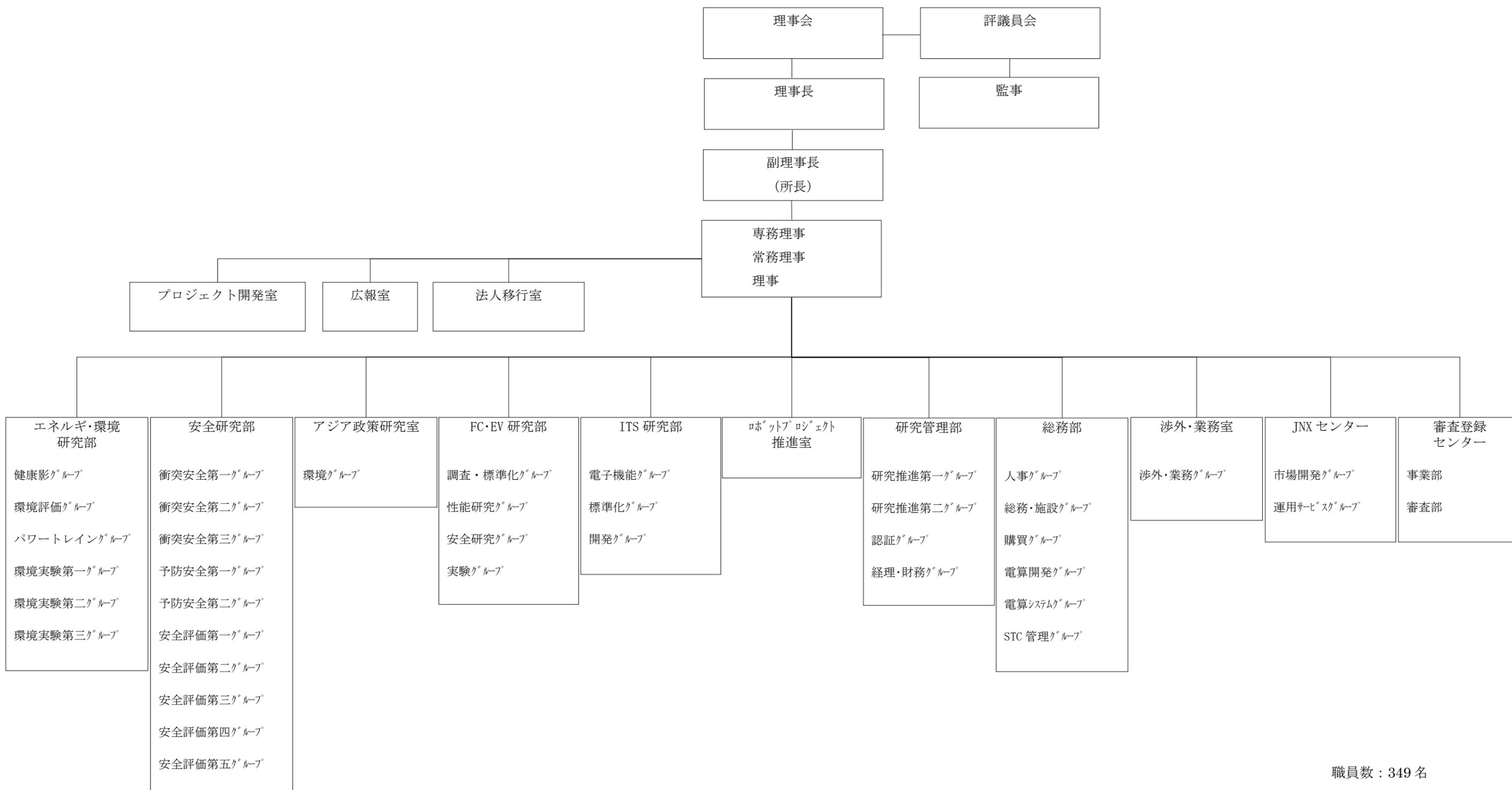
(平成 24 年 3 月 31 日現在)

氏名	所属及び役職名
岩 武 俊 廣	(一社) 日本自動車工業会 理事・事務局長
川 嶋 温	(一社) 日本自動車販売協会連合会 副会長・専務理事
高 橋 武 秀	(一社) 日本自動車部品工業会 副会長・専務理事
橋 本 茂	(一社) 日本自動車車体工業会 専務理事
井津端 修 司	(社) 日本自動車機械器具工業会 専務理事
窪 塚 孝 夫	(公社) 自動車技術会 常務理事
奥 田 慶一郎	(一社) 日本自動車タイヤ協会 常任理事・事務局長
波田野 純 一	石油連盟 常務理事
市 川 祐 三	(一社) 日本鉄鋼連盟 専務理事
中 谷 謙 助	(社) 電池工業会 専務理事
宮 下 英 治	(社) 日本ベアリング工業会 専務理事

順不同

(4) 組織表

(平成 24 年 3 月 31 日現在)



職員数：349名

表 1.2 平成 23 年度主要会議議事一覧

(1) 理事会

◇第 149 回理事会（平成 23 年 5 月 30 日）

- 議事 1. 平成 22 年度事業報告書（案）の件
- 〃 2. 平成 22 年度収支決算書（案）の件
- 〃 3. 平成 23 年度事業計画書（案）の件
- 〃 4. 平成 23 年度収支予算書（案）の件
- 〃 5. 法人移行に関する件

◇第 150 回臨時理事会（平成 23 年 5 月 30 日）

- 議事 1. 理事長，副理事長，研究所長，専務理事，常務理事及びその他の常勤の理事互選の件
- 〃 2. 評議員委嘱の件
- 〃 3. 顧問及び参与委嘱の件

◇第 151 回理事会（平成 23 年 10 月 5 日）

- 議事 1. 評議員委嘱の件
- 〃 2. 新法人の代表理事、業務執行理事の選定の件
- 〃 3. 新法人の理事長、研究所長、専務理事及びその他常勤理事並びに常勤監事選定の件
- 〃 4. 「定款の変更の案」（案）の件
- 〃 5. 一般財団法人への移行申請書（案）の件
- 〃 6. 公益目的支出計画（案）の件

◇第 152 回理事会（平成 24 年 3 月 30 日）

- 議事 1. 平成 24 年度事業計画書（案）の件
- 〃 2. 平成 24 年度収支予算書（案）の件
- 〃 3. 評議員委嘱の件
- 〃 4. 役員等選任の件
- 〃 5. 審査登録センターの上級経営管理者交替の件
- 〃 6. 法人移行に関する件

(2) 評議員会

◇第 88 回評議員会（平成 23 年 5 月 30 日）

- 議事 1. 平成 22 年度事業報告書の件
- 〃 2. 平成 22 年度収支決算書の件
- 〃 3. 平成 23 年度事業計画書（案）の件
- 〃 4. 平成 23 年度収支予算書（案）の件

- 〃 5. 法人移行に関する件
- 〃 6. 理事及び監事選任の件

◇第 89 回評議員会（平成 23 年 10 月 5 日）

議事 1. 理事選任の件

- 〃 2. 新法人の代表理事、業務執行理事の選定の件
- 〃 3. 「定款の変更の案」（案）の件
- 〃 4. 一般財団法人への移行申請書（案）の件
- 〃 5. 公益目的支出計画（案）の件

◇第 90 回評議員会（平成 24 年 3 月 30 日）

議事 1. 平成 24 年度事業計画書（案）の件

- 〃 2. 平成 24 年度収支予算書（案）の件
- 〃 3. 役員等選任の件
- 〃 4. 法人移行に関する件

(3) 評議員選定委員会

◇評議員選定委員会（平成 23 年 7 月 19 日）

議事 1. 評議員選定委員会運営規則について

- 〃 2. 評議員選定委員会の議長選出について
- 〃 3. 最初の評議員選任について

表 1.3 平成 23 年度寄附金実績

区 分	実 績(千円)
一般社団法人日本自動車工業会会員	24,000

表 1.4 賛助員加入状況

(平成 24 年 3 月 31 日現在)

区 分	賛助員数
財団運営維持	125
一 般	85
団 体	12
合 計	222

表 2.1 平成 23 年度研究事業一覧

a) 所内研究 (25 件 : JARI 研究区分の「先進研究」, 「先取り研究」, 「自主研究」)

分 野	研 究 課 題
環境・エネルギー	再生可能エネルギーによる燃料合成に関する研究 走行中の自動車への非接触給電技術の検討 高コストパフォーマンスシミュレーションシステムの構築 将来における自動車エネルギー分析手法の改良
燃料電池車・電気自動車 ハイブリッド車	普通充電器認証試験の実施体制構築 EV/PHEV 用普通充電器の民間認証機関立ち上げ エネルギー回生型電動フルトレーラーのフォローアップ研究 C・ta のフォローアップ研究
電子/電気・機能安全	電気/電子・機能安全規格 ISO26262 の導入に伴う国内運用方法の検討
I T S	ITS 産業動向に関する調査研究 次世代エネルギー・社会システムへの ITS の適用研究
予防安全	ドライバの気付き範囲評価手法に関する研究 自動車のユニバーサルデザインに関する研究ー高齢者の実効的な人間工学的データの取得ー ニアミス再現実験車の仕様と再現手法に関する検討 潜在的危険対象の見落とし・気づき遅れを防止するための視覚支援システム開発に向けた予備的検討 ドライバの自発的な安全運転を促す運転支援形態の研究
衝突安全	Brain injury thresholds: Scaling techniques and experiments 今後の交通事故分析に向けたドライブレコーダ活用方法の提案 プリクラッシュフェースを考慮した衝突に対する評価方法の検討 路面との 2 次衝突対策用頭部保護帽の開発
生活支援ロボット	生活支援ロボットの安全性に関する研究(草刈ロボットの試作と安全性の検証)
アジア政策, 国際貢献	国際貢献事業 (ラウンドテーブル) 2020 年のアジア・モータリゼーションと地球環境問題対応 アジア交通政策評価に用いる CO2 推計手法に関する研究 アジアにおける政策評価のための費用便益分析

b) 補助事業（7件）

<p>（一社）新エネルギー導入促進協議会</p>	<p>車載蓄電池の性能評価手法の技術開発</p>
<p>（独）日本学術振興会</p>	<p>追突警報システムの利便性向上による追突防止効果促進に必要な警報タイミングの考察</p>
<p>（独）日本学術振興会</p>	<p>自然な運転状況の中での人間－機械双中心型多層的追突回避マネジメント</p>
<p>（独）日本学術振興会</p>	<p>ドライブレコーダデータによる錯綜状況の定量的類型化と運転安全性の客観的評価</p>
<p>（独）日本学術振興会</p>	<p>実使用環境下における燃料電池電極触媒劣化過程のその場観察</p>
<p>（社）日本損害保険協会</p>	<p>救急医療体制の整備：緊急自動通報システムを活用した交通事故死傷者低減研究</p>
<p>（公財）三井住友海上福祉財団</p>	<p>役割演技法を用いた交通安全教育による児童の自己評価スキルの変化と行動変容に関する研究</p>

c) 受託研究 (352 件)

種別	分野	課題数
官公庁受託研究 (58 件)	環境・エネルギー	13 件
	燃料電池車・電気自動車・ハイブリッド車	7 件
	電気／電子・機能安全	2 件
	I T S	6 件
	予防安全	6 件
	衝突安全	18 件
	生活支援ロボット	1 件
	社会経済・アジア政策・その他	5 件
自工会受託研究 (69 件)	環境・エネルギー	38 件
	燃料電池車・電気自動車・ハイブリッド車	5 件
	電気／電子・機能安全	1 件
	予防安全	10 件
	衝突安全	12 件
	社会経済・アジア政策・その他	3 件
一般受託試験研究 (225 件)	環境・エネルギー	38 件
	燃料電池車・電気自動車・ハイブリッド車	39 件
	I T S	3 件
	予防安全	35 件
	衝突安全	110 件

d) 共同研究 (3 件)

分野	課題数
予防安全	1 件
電気／電子・機能安全	1 件
I T S	1 件

課題数の総計：387 件

表 2.2 平成 23 年度所外発表論文等一覧

国内発表(129 件)

発表題名	発表学会等	発表者名
《環境／エネルギー》		
[論文]		
(1) 重量車の車載型排ガス計測に関する検討 (第 1 報) - 車載型排ガス計測法の検討 -	平成 23 年 9 月 自動車技術会論文集(vol.45, No.5)	相馬 誠一 (JARI), 南 利貴 (自工会)
(2) エアロゾル質量分析計による各種自動車 排出粒子の計測	平成 23 年 11 月 自技会論文集	秋山 賢一・佐々木 左宇介
[講演]		
(1) 炭素安定同位体比計測による有害大気汚 染物質の発生源としての自動車の寄与度 推定法の研究	平成 23 年 5 月 2012 年春季大会	秋山 賢一
(2) 飛行時間型エアロゾル質量分析計を用い た半揮発性金属分析の可能性	平成 23 年 5 月 第 72 回分析化学討論会	萩野 浩之
(3) 大気や自動車排出ガスのバッグ捕集(テド ラーバッグ代替バッグの性能)	平成 23 年 6 月 第 311 回ガスクロマトグラフィー 研究会	秋山 賢一
(4) ニトロ・ジニトロフェノールの捕集方法に関 する基礎検討	平成 23 年 7 月 環境化学会	柏倉 桐子
(5) 自動車から排出される地球温暖化ガス捕 集バッグの検討	平成 23 年 7 月 第 20 回 環境化学討論会	秋山 賢一・小野村 恵子・加賀 美 和江
(6) Study of the Impact of High Biodiesal Blends on Engine Oil Performance	平成 23 年 8 月 2011 SAE Powertrains, Fuels and Lubricants Meeting	岡本 憲一 (JPEC), 松浦 賢(JARI)
(7) マススペクトル解析の基礎	平成 23 年 8 月 第 17 回 キャピラリーガスクロマト グラフィー講習会	秋山 賢一
(8) リセプターモデルを用いた有機エアロゾル 質量スペクトルの解析の事前検証	平成 23 年 8 月 第 28 回エアロゾル科学・技術研 究討論会	萩野 浩之・森川 多津子
(9) Epidemiological study design for the association of PM and noise/vibration with cardiovascular disease in Japan.	平成 23 年 9 月 INTER-NOISE 2011	机 直美 (JARI), 中井 里史 (横浜 国立大), 小野 雅司 (国立環境研 究所), 香川 順 (東京女子医科大)
(10) ガスクロ初級講座	平成 23 年 9 月 JAIMA コンファレンス	秋山 賢一
(11) Cost-effectiveness Assessment for Automotive Technologist to Reduce CO2 Emissions	平成 23 年 9 月 JSAE/SAE International Power Trains and Fuels & Lubricants	金成 修一・紀伊 雅敦 (JARI), 末広 茂 (日本エネルギー経済研究 所)
(12) 沿道における微小粒子の化学的・生物学的 特性	平成 23 年 9 月 第 52 回 大気環境学会年会	中島 徹・伊藤 剛 (JARI), 早川 和一 (金沢大), 箕浦宏明 (豊田 中央研究所)
(13) 沿道における超微小粒子個数濃度への自 動車交通流の影響	平成 23 年 9 月 第 52 回 大気環境学会年会	中島 徹 (JARI), 箕浦 宏明 (豊田 中央研究所), 山木芳久 (三菱ふそ うトラックバス), 浅海靖男 (UDトラ ックス)

(14)	CMB 法, PMF 法, および PMF/CMB ハイブリッド法による微少粒子状物質中の自動車寄与度濃度の解析	平成 23 年 9 月 第 52 回 大気環境学会年会	森川 多津子・萩野 浩之・伊藤 晃佳
(15)	ディーゼル排気粒子分画の酸化活性の解析	平成 23 年 9 月 第 52 回 大気環境学会年会	古根村 綾乃 (JARI), 阿久津 康生 (ジェー・エー・シー), 伊藤 剛 (JARI)
(16)	DNA マイクロアレイによるディーゼル排気粒子分画を処置したヒト肺上皮細胞の遺伝子発現解析	平成 23 年 9 月 第 52 回 大気環境学会年会	伊藤 剛・古根村 綾乃 (JARI), 阿久津 康生 (ジェー・エー・シー)
(17)	沿道大気粒子抽出物の酸化活性と構成成分の解析	平成 23 年 9 月 第 52 回 大気環境学会年会	伊藤 剛・古根村 綾乃・中島 徹 (JARI), 阿久津 康生 (ジェー・エー・シー)
(18)	飛行時間型エアロゾル質量分析計を用いた初冬季埼玉県北部における微小粒子中の有機成分の化学的特性	平成 23 年 9 月 第 52 回 大気環境学会年会	萩野 浩之
(19)	初冬季の関東地方における PM2.5 無機イオンの高時間分解同時観測	平成 23 年 9 月 第 52 回 大気環境学会年会	米持真一・長谷川就一 (埼玉県環境科学国際センター), 萩野 浩之 (JARI), 熊谷貴美代・山口直哉 (群馬県衛生環境研究所), 関口和彦 (埼玉大), 飯島明宏 (高崎経済大), 速水洋 (電力中央研究所)
(20)	初冬季の関東地方における PM2.5 炭素成分の高時間分解同時観測	平成 23 年 9 月 第 52 回 大気環境学会年会	長谷川就一・米持真一 (埼玉県環境科学国際センター), 萩野 浩之 (JARI), 熊谷貴美代・山口直哉 (群馬県衛生環境研究所), 関口和彦 (埼玉大), 飯島明宏 (高崎経済大), 速水洋 (電力中央研究所)
(21)	アンモニア排出インベントリ構築について	平成 23 年 9 月 第 52 回 大気環境学会年会	森川 多津子
(22)	最新ディーゼルエンジン排気の胎仔・新生仔期曝露がラットの生殖・繁殖系に及ぼす影響	平成 23 年 9 月 第 52 回 大気環境学会年会	細谷 純一・辺見 愛・古根村 綾乃・中島 徹・伊藤 剛 (JARI), 青山博昭 (残留農薬研究所), 武田健 (東京理科大), 香川 順 (東京女子医大)
(23)	ディーゼル排出ガスに含まれる金属元素濃度と発生要因	平成 23 年 9 月 第 52 回 大気環境学会年会	柏倉 桐子・佐々木 左宇介・利根川 義男
(24)	重量車の車載型排ガス計測に関する検討 (第 1 報) - 車載型排ガス計測法の検討 -	平成 23 年 9 月 第 9 回自技会ディーゼル機関部門委員会	相馬 誠一 (JARI), 南 利貴 (自工会)
(25)	ITS 施策評価のための CO2 排出量推計モデルの開発	平成 23 年 10 月 自動車技術会 2011 年度秋季学術講演会	林 誠司・米沢 三津夫・木村 真・金成 修一・平井 洋
(26)	自動車排出微量成分採取バッグの検討 - 第一報 - 湧き出し物質と炭化水素の保存性能	平成 23 年 10 月 自動車技術会 2011 年度秋季学術講演会	秋山 賢一・加賀美 和江・小野村 恵子
(27)	乗用車における将来燃費改善効果を考慮した CO2 排出量推計	平成 23 年 10 月 自動車技術会 2011 年度秋季学術講演会	金成 修一・今井 康雄・平井 洋
(28)	重量車の車載型排ガス計測に関する検討 (第 2 報) - 実路試験評価法の検討 -	平成 23 年 10 月 自動車技術会 2011 年度秋季学術講演会	相馬 誠一 (JARI), 南 利貴 (自工会)

(29)	自動車から排出されるガス状有害大気汚染物質分析の精度管理と実施上の問題点	平成 23 年 11 月 食と環境の安全・安心	秋山 賢一
(30)	東京 23 区におけるエコドライブによる CO2 削減効果の検討	平成 23 年 11 月 第 10 回 ITS シンポジウム 2011	金成 修一
(31)	広域交通シミュレーションに対応した CO2 排出量モデル	平成 23 年 11 月 第 10 回 ITS シンポジウム 2011	平井 洋・林 誠司・木村 真・ 金成 修一・米沢 三津夫 (JARI), 桑原雅夫 (東北大)
(32)	自動車排出ガスや大気捕集バッグの湧き出しと保存性の検討	平成 23 年 12 月 大気分析テクニカルセミナー	秋山 賢一
(33)	JATOP emission inventory for Japanese Air Quality Model	平成 24 年 2 月 Second International Workshop on Emission Inventory in Asia	森川 多津子
(34)	ディーゼル排気曝露が次世代に及ぼす影響調査	平成 24 年 2 月大気環境学会 健康影響分科会講演会 環境ナノ粒子の測定と生体影響に関するシンポジウム	伊藤 剛・細谷 純一・辺見 愛・中島 徹 (JARI), 武田 健 (東京理科大), 石井 幸雄 (筑波 大), 香川 順 (東京女子医大)
(35)	沿道 PM の挙動調査	平成 24 年 2 月 大気環境学会健康影響分科会・ 関東支部健康部会共催セミナー	伊藤 晃佳
(36)	自動車部門における将来技術および統合対策考慮した CO2 排出量推計	平成 24 年 3 月 第 2 回 自動車とエネルギーに 関するワークショップ	金成 修一 (JARI), 末広 茂 (日本 エネルギー経済研究所)
[投稿]			
(1)	特集にあたって	平成 23 年 8 月 騒音制御	筑井 啓介 (JARI), 石塚崇 (清水 建設技術研究所)
(2)	エアロゾル質量分析計による微小粒子化学組成の定量とその応用	平成 23 年 9 月 エアロゾル研究 2011 年 Vol.26 175-182	萩野 浩之
《燃料電池／電気自動車／ハイブリッド車》			
[論文]			
(1)	Pt 担持量が硫黄, アンモニアによる燃料電池の発電性能低下に及ぼす影響	平成 23 年 5 月 Electrochemistry Vol.79, No.5 第 45 回論文特集号「本格普及 へ進展を続ける固体高分子形燃 料電池 P343-345	橋正 好行・松田 佳之・赤井 泉明
(2)	自動車用圧縮水素容器のガス充填放出サイクルにおける容器内の到達温度	平成 23 年 6 月 自動車技術会論文集 Vol.42 No.3 p.773	松野 優・前田 安正・大塚 宣 明・田村 陽介・三石 洋之
(3)	インホイールモータ制御	平成 23 年 6 月 電気自動車の最新制御技術	島村 和樹
[講演]			
(1)	Standardization for fuel consumption measurement of HEV/PHEV	平成 23 年 5 月 EVTec'11 標準化フォーラム	森田 賢治
(2)	欧州における電気自動車と充電インフラの動向	平成 23 年 5 月 スズキ自動車社内研修	萩野 法一
(3)	H-9500 In-situ TEM の機能向上とその応用	平成 23 年 5 月 日本顕微鏡学会 第 67 回学術 講演会	矢口紀恵 (日立ハイテクノロジー ズ), 金村崇 (日立ハイテックマニファ クチャ&サービス), 渡部明・松本

		弘昭 (日立ハイテクノロジーズ), 清水 貴弘・今村 大地 (JARI), 上野武夫 (日立ハイテクノロジーズ)
(4)	セルフ給油時のガソリン吹きこぼれ実態調査	平成 23 年 5 月 平成23年度 日本火災学会研究発表会
(5)	水素燃料電池自動車等を運送する船舶の安全基準の策定	平成 23 年 6 月 平成 23 年度 海上技術安全研究所研究発表会 船舶の安全基準の策定
(6)	自動車用リチウムイオン電池の環境試験法の調査	平成 23 年 7 月 第 13 回 EVS フォーラム
(7)	Analysis of Adverse Effects on Vehicle Performance Due to Deterioration in Capacity of Batteries Installed in Plug-in Hybrid Vehicles	平成 23 年 9 月 2011 IEEE Vehicle Power and Propulsion Conference (VPPC)
(8)	加湿空気における Pt/C 触媒劣化過程のその場観察	平成 23 年 9 月 2011 年電気化学秋季大会
(9)	CO oxidation under PEFC operating condition	平成 23 年 9 月 62nd Annual Meeting of the International Society of Electrochemistry
(10)	EV、ハイブリッド車、燃料電池車・・・ 環境性能を競う各メーカーの動向と今後燃料電池車 (FCV) の最新動向と今後の課題	平成 23 年 9 月 次世代自動車セミナー
(11)	電動車両の現状と普及に向けた課題	平成 23 年 10 月 茨城県次世代エネルギーパーク研究会
(12)	電動車両の現状と課題	平成 23 年 10 月 次世代モビリティの普及における「地域」との連携と公共政策の役割
(13)	電動フルトレーラーシステムの開発	平成 23 年 10 月 自動車技術会 2011 年度秋季学術講演会
(14)	プラグインハイブリッド自動車における搭載リチウムイオン蓄電池の許容劣化度についての検討	平成 23 年 10 月 自動車技術会 2011 年度秋季学術講演会
(15)	局所火炎曝露試験用プロバンバーナの開発とその特性に関する研究	平成 23 年 10 月 自動車技術会 2011 年度秋季学術講演会
(16)	水素中の不純物が燃料電池性能に与える影響	平成 23 年 10 月 第 113 回 燃料電池研究会セミナー
(17)	電気自動車の最新動向と展望	平成 23 年 10 月 第 1 回 講習会「電動車両および周辺技術の最新動向」
		鈴木 仁治・田村 陽介・林 賢英・前田 安正・大塚 宣明・小松 和則
		太田 進・岡 秀行・川越 陽一 (海上技術安全研究所), 緒方 雄二 (産業技術総合研究所), 田村 陽介 (JARI)
		前田 清隆・高橋 昌志・小松 和則 Hiroki MATSUMURA・Kazuki OCHIAI・Fuliang HUANG・Yusuke SUMIDA・Yushi KAMIYA・Yasuhiro DAISHO (WASEDA University), 森田 賢治 (JARI)
		清水 貴弘・今村 大地 (JARI), 矢口 紀恵・金村 崇・上野 武夫 (日立ハイテクノロジーズ)
		今村 大地・松田 佳之・橋正好行・赤井 泉明
		荻野 法一
		荻野 法一
		島村 和樹・広瀬 久士・大野和之・沼田 智昭
		木野戸 秀将・落合 和樹・松村 広基・紙屋 雄史・大聖 泰弘 (早稲田大), 森田 賢治 (JARI),
		田村 陽介・高林 勝・大塚 宣明・竹内 正幸
		赤井 泉明
		荻野 法一

(18)	リチウムイオン電池の加熱試験法および結露試験法の調査(2)	平成 23 年 10 月 第 52 回電池討論会	前田 清隆・高橋 昌志・小松 和則
(19)	次世代自動車用リチウムイオン電池のサイクル寿命試験方法の開発	平成 23 年 11 月 「生産と電気」平成 23 年 11 月号	森田 賢治
(20)	自動車用リチウムイオン電池の安全性評価試験－最近の動向と成果－	平成 23 年 11 月 電気化学セミナー4	高橋 昌志
(21)	試作 EV 用車両制御 ECU の開発	平成 23 年 12 月 NI Days 2011	島村 和樹
(22)	電気自動車・燃料電池自動車の将来展望	平成 23 年 12 月 第 84 回JAEF研修会	荻野 法一
(23)	Development of industry-oriented Environmental TEM system and its application	平成 24 年 1 月 International Symposium on Role of Electron Microscopy in Industry	矢口紀恵・渡部明(日立ハイテクノロジーズ), 金村崇(日立ハイテクマニファクチャ&サービス), 清水 貴弘・今村 大地 (JARI), 上野武夫(日立ハイテクノロジーズ)
(24)	自動車用燃料電池 MEA の耐久性評価(その1)起動停止試験	平成 24 年 3 月電気化学会 第 79 回大会	清水 貴弘・木口 和博・沼田 智昭・吉村 昇・松田 佳之・今村 大地・橋正 好行
(25)	自動車用燃料電池 MEA の耐久性評価(その2)負荷応答試験	平成 24 年 3 月 電気化学会 第 79 回大会	橋正 好行・清水 貴弘・松田 佳之・今村 大地・赤井 泉明 (JARI), 佐々木正史(北見工業大)
(26)	加湿空気における Pt/C 触媒劣化過程の高分解能その場観察	平成 24 年 3 月 電気化学会第 79 回大会	清水 貴弘・今村 大地 (JARI), 矢口 V 紀恵・金村 崇・上野 武夫(日立ハイテクノロジーズ)
[投稿]			
(1)	次世代自動車とスマートグリッド	平成 23 年 4 月 特集「スマートグリッド」	荻野 法一
(2)	13.5 節 防爆技術 b. 安全性試験施設(海外)	平成 23 年 5 月 水素の事典	福本 紀
(3)	電気自動車・燃料電池車の最新動向とスマートグリッド	平成 23 年 6 月 産業と環境	荻野 法一
(4)	電動車両用リチウムイオン電池のサイクル寿命試験プロファイルの開発	平成 23 年 7 月 自動車技術	森田 賢治
(5)	外部充電有りハイブリッド自動車の燃費測定法の標準化動向	平成 23 年 7 月 自動車技術 Vol.65, No.7, 2011	吉原 三智子
(6)	電気化学の入口	平成 23 年 8 月 Electrochemistry, 79(8), 645-646 (2011)	清水 貴弘
(7)	ハイブリッド車・電気自動車・燃料電池車	平成 23 年 8 月 自動車技術 Vol.65, No.8, 2011	大徳 浩志・堀口 眞・矢野 勝
(8)	電動車両およびリチウムイオン電池の安全性	平成 23 年 10 月 Web マガジン Motor Ring No.33	高橋 昌志
(9)	電気自動車の現状と将来	平成 23 年 10 月 粉体技術	荻野 法一
(10)	電気自動車の現状と課題	平成 23 年 12 月 2012 自動車用半導体・センサ技術大全	荻野 法一
(11)	ここまできた電気自動車	平成 24 年 3 月 快適! 省エネライフ	室伏 巧

(12) 燃料電池自動車用水素燃料仕様に係る国際標準化の動向	平成 24 年 3 月 水素エネルギー協会会誌	富岡 秀徳
《ITS》		
[講演]		
(1) 隊列走行における車間距離制御アルゴリズムの研究(第 3 報)	平成 23 年 5 月 自動車技術会 2011 年度春季 学術講演会	平田 裕也 (JARI), 杉町 敏之・ 深尾 隆則 (神戸大), 鈴木 儀匡 (JARI)
(2) 隊列走行におけるブレーキシステムの信頼性向上の検討(第 1 報)	平成 23 年 5 月 自動車技術会 2011 年度春季 学術講演会	安藝 雅彦 (東京大), 中野 公彦・ 須田 義大 (東京大), 鈴木 儀匡・ 佐久間 淳・河島 宏紀・石坂 宏幸 (JARI)
(3) 隊列走行におけるブレーキシステムの信頼性向上の検討(第 2 報)	平成 23 年 5 月 自動車技術会 2011 年度春季 学術講演会	鈴木 儀匡・佐久間 淳・河島 宏紀・石坂 宏幸 (JARI), 安藝 雅彦・中野 公彦・須田 義大 (東京大)
(4) Highly Automated Platoon System for New Freight Transport on Highway	平成 23 年 6 月 IEEE FISTS11	青木 啓二
(5) ITS 産業の動向と発展に向けた課題	平成 23 年 8 月 VICS 職員向け勉強会	國弘 由比
(6) エネルギー ITS 推進事業における大型トラック自動隊列走行	平成 23 年 8 月 産業応用フォーラム「自動車の自動 運転システム」	青木 啓二
(7) 自動運転・隊列走行の開発動向について	平成 23 年 10 月 16回 ITS セミナーインふじのく に	青木 啓二
(8) A New Concept of Brake System for ITS Platoon Heavy Duty Trucks and Its Pre-evaluation	平成 23 年 10 月 自動車技術会 2011 年度秋季 学術講演会	石坂 宏幸・青木 啓二・鈴木 儀匡・佐久間 淳 (JARI), 須田教 授・中野准教授・安藝先生 (東 京大)
(9) 機能安全規格 ISO26262 への JARI の取り組み	平成 24 年 1 月 車載組込みシステムフォーラム2 012	森田 康裕
[投稿]		
(1) 「招待講演」自動運転・隊列走行技術の開発	平成 23 年 9 月 ITS 研究会発表会	青木 啓二
《予防安全》		
[論文]		
(1) 予防安全性能向上のためのドライバー特性研究	平成 23 年 8 月 IATSS Review Vol.36-No.1(2011 年 8 月発行予定)	宇野 宏
(2) 高学年児童を対象にした交通安全教育－役割演技法を用いることによる主体的な学習の可能性について－ よる主体的な学習の可能性について－	平成 23 年 8 月 安全教育学研究 第 11 卷(1), 7 -24(2011)	大谷 亮・橋本 博・小林 隆・ 岡田 和未・岡野 玲子
(3) 低覚醒時におけるドライバの視認行動特性	平成 23 年 9 月 自動車技術会論文集 Vol.42, No.5, 2011 p.1217-1222	本間 亮平・安部 原也・菊地 一範・岩城 亮・藤井 健 (JARI), 福島正夫 (自工会)

(4)	アルコールインターロック装置とブリーフインターベンションの飲酒行動抑止効果	平成 23 年 10 月 自動車技術会 2011 年度秋季 学術講演会	鈴木 崇・麻生 勤 (JARI), 樋口 進 (久里浜アルコール症センター), 盛田 慎吾・林 健一 (国土交通 省)
(5)	インフラ協調安全運転支援システムの表示 インターフェイスに関する検討(第 4 報)ー 右折待ち停止中に 2 種類の情報を提供する 際の視聴覚表示の考え方ー	平成 24 年 3 月 自動車技術会論文集	大谷 亮・岩城 亮 (JARI), 中村 之信 (自工会)
[講演]			
(1)	児童の学齢段階に応じた体系的交通安全 教育の実践と研究	平成 23 年 6 月 第 48 回日本交通科学協議会学 術講演会	大谷 亮・橋本 博・小林 隆・ 岡田 和未・岡野 玲子
(2)	高学年児童を対象にした継続的な安全 教育の有用性ー集団討論と役割演技法による 児童の態度と行動変容ー ー集団討論と役割演技法による態度と行 動変容についてー	平成 23 年 6 月 日本交通心理学会第 76 回大会	大谷 亮・橋本 博・小林 隆・ 岡田 和未・岡野 玲子
(3)	車室内視覚表示の情報内容や物理的特 性がドライバの印象および理解に及ぼす 影響	平成 23 年 6 月 日本人間工学会第 52 回大会	大谷 亮・岩城 亮 (JARI), 中村 之信 (自工会)
(4)	Analysis of naturalistic driving data for understanding human error in major crash types in Japan	平成 23 年 9 月 FAST-zero '11	内田 信行・川越 麻生・田川 傑 (JARI), 持田 勤 (自工会)
(5)	低学年児童を対象にした交通安全教育の 内容に関する研究ー交通法規の認識と適 切な道路横断行動の観点からー	平成 23 年 9 月日本応用心理 学会第 78 回大会	大谷 亮
(6)	付加作業が通常時と緊急時の自動車運転 行動に及ぼす影響	平成 23 年 9 月 日本心理学会 第 75 回大会 (2011 年)	宇野 宏 (JARI), 中村之信 (本田 技術研究所)
(7)	前方車両衝突防止支援システムの効果予 測ー危険の予期が低いドライバの衝突予 知警報に対する反応特性ー	平成 23 年 10 月 2011 自動車技術会秋季大会(論 文同時投稿) 学術講演会前刷 集 No.97-11, p.21-26	本間 亮平・菊地 一範・若杉 貴志 (JARI), 田坂 寿康・吉川 傑 (自工会)
(8)	交差点直進時における対歩行者事故の発 生要因に関する実験検討	平成 23 年 10 月 2011 年自動車技術会 学術講 演会 秋季大会	田川 傑・内田 信行 (JARI), 持 田 勤 (自工会)
(9)	トラッキング作業を用いた二重課題法によ るドライバインタフェースの台上評価方法 に関する考察	平成 23 年 10 月 自動車技術会 2011 年度秋季 学術講演会	宇野 宏 (JARI), 中村之信 (本田 技術研究所)
(10)	インフラ協調安全運転支援システムの表示 インターフェイス(第 4 報)ー右折待ち停止 中に 2 種類の情報を提供する際の視聴覚 表示の考え方ー	平成 23 年 10 月 自動車技術会 2011 年度秋季 学術講演会	大谷 亮・岩城 亮・中村之信 (自工会 HMI 分科会長)
《衝突安全》			
[論文]			
(1)	自動車の衝突安全における衝撃と人体傷 害	平成 23 年 6 月 日本材料学会誌 2011 年 6 月号	江島 晋
[講演]			
(1)	ドライブレコーダが記録するニアミスの分類 方法の提案	平成 23 年 5 月 自動車技術会 2011 年度春季 学術講演会	今長 久・鷹取 収

	Traffic accident analysis towards the development of an advanced frontal crash test dummy indispensable for further improving vehicle occupant protection performance	平成 23 年 6 月 22nd International Technical Conference on the Enhanced Safety of Vehicles (ESV2011)	谷口 昌幸・面田 雄一・小野古志郎 (JARI), 増田 光利 (自工会)
(2)	シミュレーションによる歩行者事故の解析 (第1報)ー衝突速度が飛翔距離に及ぼす影響	平成 23 年 6 月 第 47 回 日本交通科学協議会 総会・学術講演会	福山 慶介・松川 不二夫・一色孝廣・面田 雄一・山崎 邦夫
(3)	CAE による前面衝突した大型車キャビンからの乗員救出(室内拡張)方法の検討	平成 23 年 10 月 自動車技術会 2011 年度秋季学術講演会	山本 義洋・すけ川 佳弘 (JARI), 関野雅昭 (三菱ふそうトラック・バス株式会社)
(4)	前面衝突事故における大型トラック乗員救出についての実験的検証	平成 23 年 10 月 自動車技術会 2011 年度秋季学術講演会	すけ川 佳弘・山本 義洋 (JARI), 関野雅昭 (自工会)
(5)	高性能 FRP 製クラッシュボックスの開発 (副題:構造用 FRP WG 活動報告 トリガ一部の圧壊メカニズム解析)	平成 23 年 10 月 自動車技術会 2011 年度秋季学術講演会	小池 朝夫 (株式会社いすゞ中央研究所), 横山 敦士 (京都工芸繊維大), すけ川 佳弘 (JARI), 川村 浩司 (QPCJ), 大平 博道 (JSOL), 秋田 麗佳 (伊藤忠テクノソリューションズ)
(6)	ドライバの自発的な安全運転を促す運転支援策の検討	平成 23 年 10 月 自動車技術会 2011 年度秋季学術講演会	北島 創・鷹取 収 (JARI), 榎田 修一 (九州工業大), 片山 硬 (久留米工業大)
(7)	肝臓器灌流時の準静的圧縮実験における損傷に関する考察	平成 23 年 10 月 日本機械学会 第 22 回バイオフロンティア講演会	佐藤直樹・原 利昭 (新潟大), 山本 義洋・伊藤 大輔 (JARI), 上地 幸一・安木 剛 (自工会)
[投稿]			
(1)	自動車運転者から見た自転車のリスク	平成 23 年 4 月 労働の科学 66 巻 4 号 2011 年	北島 創
(2)	A New Method to Normalize the Human Head	平成 23 年 5 月 16th Japan Society for Computational Engineering and Science	アントナ ハコボ・江島 晋・佐藤 房子
(3)	ダミーを用いた衝突安全の試験・計測技術	平成 23 年 7 月 自動車技術 Vol.65, No.7, 2011	久保田 正美
(4)	追突事故, ニアミスデータに基づくドライバの状況認識診断手法の開発と回避と支援策の検討	平成 23 年 11 月 計測自動制御学会システム情報部門学術講演会	北島 創 (JARI), 片山 硬 (久留米工業大), 伊藤 誠 (筑波大)
(5)	自動車交通事故安全対策への CT 画像などの活用の現状と将来	平成 23 年 12 月 Innervision 2012 年 1 月号	高山 晋一・三上 耕司・江島 晋・小野 古志郎
(6)	自動車の研究者が分析・指南! 車両からの救助方法 第 2 回 ちょっとした工夫で大型車は牽引しやすくなる?	平成 24 年 3 月 月刊消防	すけ川 佳弘
《社会経済/国際貢献》			
[講演]			
(1)	Development of Electric Commuter Concept Car "C-ta"	平成 23 年 5 月 1st International Electric Vehicle Technology Conference 2011	鈴木 徹也・島村 和樹・前田 安正

(2) 自動車の LCA ～ 未来のクルマをライフサイクルから考える	平成 23 年 5 月 機械システム工学特別講義	船崎 敦
(3) 日本の5都市における大気汚染と健康被害 - 相関関係の手法について -	平成 23 年 9 月 環境経済・政策学会 2011 年大会	廣田 恵子 (JARI), 澁谷怜史・鹿島茂 (中央大)
[投稿]		
(1) Well to Wheel 分析による CO2 換算法	平成 23 年 4 月 自動車技術ハンドブック, 設計 (EV・ハイブリッド) 編	船崎 敦
(2) インドネシアのモータリゼーションと技術協力	平成 23 年 5 月 日産アークの広報誌 マンスリー, Vol.20, No.5	船崎 敦
《その他》		
[講演]		
(1) 生活支援ロボットの安全性検証試験方法の開発	平成 23 年 9 月 第 29 回 日本ロボット学会 学術講演会 講演概要集	藤川 達夫・小口 誠 (JARI), 松本 治・大場 光太郎・加藤 晋 (産総研), 池田 博康・村上 真之 (安衛研)
(2) Requested reliability of dynamic mechanical measurement in mobility, from automobile to humanoid robot	平成 23 年 11 月 BIPM Workshop for Challenges in Metrology for Dynamic Measurement	藤川 達夫
(3) ISO26262 監査・アセスメントの考え方と認証について	平成 23 年 11 月 日経 BP ISO26262 最新動向セミナー	大須賀 竜治

海外発表(24 件)

発表題名	発表学会等	発表者名
《環境／エネルギー》		
[論文]		
A Novel Approach for Toxicity a Prediction Model of Environmental Pollutants by using a Quantitative Structure-Activity Relationship Method Based on Toxicogenomics.	平成 23 年 4 月 ISRN Toxicology Volume 2011, Article ID 515724	細谷 純一・田村 久美子・村木直美・奥村 弘樹・伊藤 剛 (JARI), 前野 貢 (新潟大)
(1)		
Comparison of fuel economy and exhaust emission tests of 4WD vehicles using single-axis chassis dynamometer and dual-axis chassis dynamometer	平成 23 年 8 月 2011 SAE Powertrains, Fuels and Lubricants Meeting	中條 智哉・土屋 賢次
(2)		
[講演]		
Effects of pre- and postnatal exposure to emission from the latest diesel engine with diesel particulate filter on ovalbumin-induced asthma model mice	平成 23 年 5 月 HEI Annual Conference 2011 (5/1~5/3)	細谷 純一・辺見 愛・伊藤 剛・中島 徹 (JARI), 石井 幸雄 (筑波大), 武田 健 (東京理科大), 香川 順 (東京女子医大)
(1)		
《燃料電池／電気自動車／ハイブリッド車》		
[論文]		
Effect of ammonia contained in hydrogen fuel on PEMFC performance	平成 23 年 10 月 220th ECS Meeting	今村 大地・松田 佳之・橋正 好行・赤井 泉明
(1)		
Combustion Behavior due to Hydrogen Leakage under Porous Combustibles of Ceiling	平成 23 年 10 月 Journal of Passenger Cars - Mechanical Systems	田村 陽介・高林 勝・鈴木 仁治 (JARI), 能美 隆・前川 麻弥 (能美防災), 佐藤研二 (東邦大)
(2)		
[講演]		
Combustion Behavior of Leakage Hydrogen and Effects of Ceiling Variations	平成 23 年 4 月 2011 SAE World Congress	田村 陽介・高林 勝・鈴木 仁治・能美 隆 (能美防災), 前川 麻弥 (能美防災), 佐藤研二 (東邦大)
(1)		
Influence of temperature and pressure on the fatigue strength of Type-3 compressed-hydrogen tanks	平成 23 年 9 月 4th ICHS, International Conference on Hydrogen Safety	富岡 純一・木口 和博・田村 陽介・三石 洋之
(2)		
Attained Temperature During Gas Fueling and Defueling Cycles of Compressed Hydrogen Tanks for FCV	平成 23 年 9 月 4th ICHS, International Conference on Hydrogen Safety	松野 優・前田 安正・大塚 宣明・田村 陽介・三石 洋之
(3)		
Investigation of Overcharge Test for Lithium-Ion Batteries in Vehicles - Investigation of Overcharge Test Method -	平成 23 年 10 月 220th ECS Meeting	高橋 昌志・小松 和則・前田 清隆
(4)		
Effect of ammonia contained in hydrogen fuel on PEMFC performance	平成 23 年 10 月 220th ECS Meeting	今村 大地・松田 佳之・橋正 好行・赤井 泉明
(5)		
Investigation of high-temperature endurance and dewing tests for lithium-ion batteries in vehicles	平成 23 年 10 月 220th ECS Meeting	前田 清隆・高橋 昌志・小松 和則
(6)		

Development of a technique for in-situ (7) high temperature TEM observation of catalyst in moisturized air atmosphere	平成 23 年 11 月 2011 MRS Fall Meeting & Exhibit	矢口紀恵 (日立ハイテクノロジー ズ), 金村崇 (日立ハイテックマニファ クチャ&サービス), 清水 貴弘・ 今村 大地 (JARI), 上野武夫 (日 立ハイテクノロジーズ)
《ITS》 [講演] A New Concept of Brake System for ITS (1) Platoon Heavy Duty Trucks and Its Pre- evaluation	平成 23 年 10 月 IEEE ITSC 2011	石坂 宏幸・鈴木 儀匡・佐久間 淳 (JARI), 須田教授・中野准教 授・安藝先生 (東京大)
《予防安全》 [講演] (1) Causation analysis using video recording data in near-miss situation (仮) (2) Evaluation of Camera Monitor Systems in Lane-changing Situations	平成 23 年 6 月 SAE Event Data Recorder Symposium 平成 23 年 10 月 HFES Euro Chapter	内田 信行・川越 麻生・田川 傑 (JARI), 持田 勤 (自工会) 細川 崇・橋本 博 (JARI), 美記 陽之介 (自工会)
《衝突安全》 [論文] (1) Pre-impact Braking Influence on the Standard Seatbelted and Mortrolized Seatbelted Occupants in Frontal Collisions based on Anthropometric Test Dummy In-Depth Injury Analysis using the (2) National Integrated Accident Data linked to Permanent Disability and Trauma Registration Data in Japan	平成 23 年 9 月 2011 The International Research Council on Biomechanics of Injury 平成 23 年 9 月 Proceedings of 2011 IRCOBI	江島 晋・伊藤 大輔・アントナ ハコボ・すけ川 佳弘・伊藤 久 雄 小野 古志郎・立石 一正・岩田 三枝子 (JARI), 渡辺一巳 (交通事 故総合分析センター), 平川清彦 (国土交通省)
[講演] (1) Effective reduction methodology of injury in car crash with medicine and engineering network in Japan (2) The Clarification of Injury Mechanism Differences of Individual Pedestrian FE Model Utilizing PMHS Scaling and Posturing Techniques (3) Relationship between impact conditions and brain shear strain in rotational head impacts	平成 23 年 6 月 22nd Enhanced Safety of Vehicles Conference 平成 23 年 6 月 22nd International Technical Conference on the Enhanced Safety of Vehicles (ESV2011) 平成 23 年 7 月 International Society of Biomechanics 2011	江島 晋・高山 晋一・三上 耕 司・小野 古志郎 (JARI), 益子邦 洋・本村友一 (日本医科大千葉北 総病院), 大橋秀幸 (交通事故分析 センター), 木内 透 (トヨタ自動車) 高山 晋一・山本 義洋・江島 晋・小野 古志郎 (JARI), 上地 幸一・安木 剛 (自工会) 穴田 賢二 (JARI), 宮崎 祐介・ 丹治 和也・立矢 宏・放生 明 廣 (金沢大), 阪本 雄一郎 (佐賀 大)
[投稿] (1) Analysis of the rescue operations of injured vehicle-occupants by fire fighters	平成 23 年 6 月 22nd ESV Conference	すけ川 佳弘
《社会経済／国際貢献》 [論文] (1) A methodology of estimation on air pollution and its health effect in large	平成 24 年 3 月 Air Quality	廣田 恵子 (JARI), 鹿島茂・澁谷 怜史 (中央大)

Japanese cities

[講演]

- (1) 自動車分野の成果報告(R&D機能強化)

平成 23 年 6 月
MIDEC implementation Seminar

船崎 敦

- (2) Tire/Road Noise Prediction Using Road-
Profile Enveloping Procedure and Height-
Unevenness Method

平成 23 年 9 月
Proceedings of Inter-noise 2011

藤川 達夫・押野 康夫 (JARI),
橋 秀樹 (千葉工大)

表 2.3 平成 23 年度 学会表彰の受賞者一覧

表彰名	受賞者	対象名
公益社団法人 電気化学会 ポスター賞(第 79 回大会)	清水 貴弘、今村 大地	加湿空気中における Pt/C 触媒劣化過程の高分解能その場観察
日本安全教育学会 研究奨励賞(第 12 回)	大谷 亮、橋本 博、 小林 隆、岡田 和未、 岡野 玲子	高学年児童が主体となった交通安全教育の実践 ー役割演技法を用いた小学校における安全教育の試みー
社団法人 大気環境学会 優秀ポスター賞(第 52 回)	森川 多津子、萩野 浩之、伊藤 晃佳	CMB 法, PMF 法, および PMF/CMB ハイブリッド法による微少粒子状物質中の自動車寄与度濃度の解析
一般社団法人 エネルギー・資源学会 茅奨励賞(第 15 回)	鈴木 徹也	ハイブリットフルトレラによる高効率輸送の社会受容性
公益社団法人 自動車技術会 論文賞(第 61 回)	北村 高明、伊藤 貴之	低圧パイロット噴射と高圧メイン噴射を組合わせた混合律速型低温ディーゼル燃焼法
SAE (Society of Automotive Engineers, Inc.) John Johnson Award	北村 高明、伊藤 貴之	Mixing-Controlled, Low Temperature Diesel Combustion with Pressure Modulated Multiple-Injection for HSDI Diesel Engine.
公益社団法人 自動車技術会 技術部門貢献賞(2010 年度)	赤井 泉明	技術会議傘下の部門委員会活動(燃料電池部門委員会)において多大な貢献を認められた

表 2.4 平成 23 年度産業財産権出願一覧

出願番号	発明者	発明の名称
特願 2011-108110	島村 和樹, 他	ハイブリッド車両の制御装置
特願 2011-128306	石坂 宏幸	隊列走行制御装置
特願 2011-148026	鴻巣 敦宏, 他	衝撃吸収構造体及び人体保護具
特願 2011-201587	田川 傑, 他	車両用危険場面再現装置

※共同出願 3 件を除く

表 2.5 平成 23 年度実用新案権実施一覧

実用新案権の実施	発明者	備 考
燃料電池 JARI 標準セル	渡辺 正五, 橋正 好行	委託頒布

表 2.6 平成 23 年度著作権所有主要コンピュータソフトウェア頒布一覧

プログラム著作物の名称	発明者	備 考
ノモグラムソフトウェア	井上 茂, 他	委託頒布

表 3.2 平成 23 年度テストコース外部利用者使用状況

(単位：千円)

使 用 区 分		実 績
業 種 別	国内自動車(二輪・四輪)関係	634,698
	海外自動車関係	1,719
	車体関係	24,181
	部品関係	44,599
	タイヤ関係	34,100
	その他	38,579
	合 計	777,876
テ ス ト コ ー ス 別	高速周回路	363,490
	総合試験路	112,280
	その他	302,106
	合 計	777,876

表 4.1 平成 23 年度技術刊行物一覧

区 分	題 名	発行年月
報告書	ITS 産業動向に関する調査研究報告書 －ITS 産業の最前線と市場予測 2011－	平成 23 年 5 月
年 報	平成 22 年度 日本自動車研究所 年報	平成 23 年 8 月
所 報 自動車研究	第 33 卷 第 4 号～第 33 卷 第 12 号 (解説, 研究速報, 資料など 116 編掲載)	平成 23 年 4 月～ 平成 23 年 12 月
所 報 JARI Research Journal	平成 24 年 1 月より電子版に移行 (研究速報, 技術資料など 11 編掲載)	平成 24 年 1 月～ 平成 24 年 3 月

表 4.2 平成 23 年度蔵書, 資料保有状況

区 分	取得件数	累 計
単行本 (和書)	220 冊	12,317 冊
単行本 (洋書)	30 冊	2,179 冊
国内雑誌	30 誌	—
外国雑誌	4 誌	—
報告書等	509 点	43,852 点

表 5 平成 23 年度重要な契約に関する事項

1. 重要な委託契約等について

- ・ インパクトバイオメカニクスに関する研究（人体 FE モデル開発）他全 48 課題
- ・ 平成 23 年度次世代エネルギー・社会システム実証事業費補助金
II-2. 蓄電複合システム等共通基盤技術国際標準化研究開発事業
（車載蓄電池の性能評価手法の技術開発）
- ・ エネルギーITS 推進事業／協調走行（自動運転）に向けた研究開発

2. 重要な設備投資について

- ・ 大型ディーゼル自動車の排出ガス・燃費試験設備の導入
- ・ 水素・燃料電池自動車安全性評価試験設備の導入
- ・ 4号エンジン研究棟設備の更新